

もっけん通信

No.10 2025.2.14

ホット情報

●令和7年度予算が組合会で承認されました。

2月12日(水)に「第162回組合会」が開催され、令和7年度予算が承認されました。健保財政は医療費などの高騰で大変厳しい状況ではありますが「病気の重症化予防」や「病気の早期発見・早期治療」に資する人間ドックなどの受診者を応援するため、健診費用の補助に重点を置いた予算となっています。

主な補助額の変更は次のとおりです。

■人間ドック	①被保険者(40歳以上)	20,000円(旧15,000円)
	②被保険者(40歳未満)	10,000円(旧8,000円)
	③被保険者(30歳・35歳)	20,000円(新設)
	④被扶養者(40歳以上)	20,000円(旧15,000円)
■子宮頸がん検診(女性被保険者)		4,500円(新設)
■インフルエンザ予防接種	①被保険者	2,000円(旧1,500円)
	②被扶養者	1,500円(旧1,000円)

※「肺ドック」と「歯科健診」は引き続き費用補助を行いますので、積極的にご利用ください。

※健診結果において「要精密検査」や「要再検査」などと診断された方は必ず専門医で早期受診をお願いします。

●「歯周病・歯肉炎」は当健保の疾患別医療費の断トツ一位です。

歯周病は進行するまで自覚症状が表れにくいいため、悪化すると歯を支える骨が溶けて、最終的には歯を抜かなければならなくなってしまいます。また、歯周病菌や歯周病菌が出す毒素が血液によって全身に運ばれ、様々な病気を引き起こしたり、悪化させたりすることが分かっています。糖尿病や心筋梗塞、脳梗塞、動脈硬化といった生活習慣病や誤嚥性肺炎は、歯周病が原因の一つだといわれています。

その他、歯周病で口の中が不衛生になるとインフルエンザなどの感染症にかかりやすく、重症化しやすくなるといわれています。

歯磨きなどの口腔内のケアと定期的な歯科健診を欠かさないことが大切です。